



くらき永田保育園便り

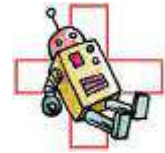
平成 27 年 11 月 2 日

<http://www.kurakids.ed.jp/>

今年も残すところ 2 か月となりました。先月は、運動会、芋掘り、収穫祭すべてが最高の天候のもと行うことが出来ました。一方、園内で久々におたふくなどが流行し、巷ではインフルエンザのニュースも耳にするようになりました。体調に気をつけながら秋を楽しみたいと思います。



12 月 5 日は造形祭です！



子どもたちの 4 月からの生活の様子や表現活動を紹介する造形祭が近づいてきました。今回はいきいき組の子どもたちが作ったロボットたちによるファッションショーロボットアワード 2015“くらき永田ランウエイ”が行われます。

また、11 月末に子どもたちが体験するドラムカンピザの体験、おもちゃコンサルタントの富永さんによる玩具紹介、誉工務店の協力のもと包丁研ぎ(有料)と盛りだくさんの企画を準備中です。

さらに、例年通り、おもちゃ病院の三上さんもボランティアで参加します。動かなくなったり、壊れてしまった大切なおもちゃがありましたら、受診をお勧めします。

いきいき組は大忙し



みんなの憧れ年長のいきいき組は特別な保育メニューが目白押しです。5 日には南区内の 21 か所の保育園が集まって清水が丘公園での「みなっち杯駅伝」からはじまり、20 日には川崎球場で T ボール野球大会、その他にも陶芸の色付け、公園の花苗植付け、小学校での給食体験、また、小学校入学に向けての就学前健診も今月の大切なイベントです。わくわく組以下の子どもたちも、「僕たちも年長になったら・・・」という憧れの想いを持つことで自分たちの明るい未来を感じていると思います。



情緒的に利用可能な存在であること



先月末に行われた公開保育「保育のカたち展」にアタッチメントの権威でもある東京大学の遠藤利彦教授が飛び入り参加してくれました。くらき永田保育園の乳児保育で行われている「出来ることは奪わない・出来ることを増やしていく」という保育に最大限のお褒めの言葉をいただきました。保育園で大切にしている「子どもからのシグナルに対応できる保育者の感性」実践されていることの評価だと受け取った一方、新たな課題も与えられました。

それは、「感性」を前面に押し出し過ぎると、大人側が先回りをしていろいろやり過ぎてしまう“必要以上のお節介”を生み出してしまったら意味がないということです。

そこで教えてもらったのが“情緒利用可能性”という聞きなれない言葉でした。子どもの気持ちはそれぞれ違うので、養育者はその時々で情緒的に利用してもらえる存在として”そこに居てくれる”ということのようです。保育や子育ての大切さを言葉で伝えるって難しい、そして、保育の世界は奥が深いと改めて感じました。

| 11月の予定 | | |
|--------|---|------------------------------|
| 1 | 日 | |
| 2 | 月 | ぽかぽか 12 月分受付 |
| 3 | 火 | |
| 4 | 水 | 陶芸・色付け (いきいき組) |
| 5 | 木 | みなっち駅伝 (いきいき組) |
| 6 | 金 | すくすく組懇談会 |
| 7 | 土 | |
| 8 | 日 | |
| 9 | 月 | 永野鯉節店さん |
| 10 | 火 | カラダの時間 |
| 11 | 水 | |
| 12 | 木 | |
| 13 | 金 | |
| 14 | 土 | 布団乾燥 |
| 15 | 日 | |
| 16 | 月 | 程ヶ谷カントリークラブ交流会 (わくわく組・いきいき組) |
| 17 | 火 | |
| 18 | 水 | 菜の花さん交流会 |
| 19 | 木 | 内科健診 |
| 20 | 金 | T ボール交流会 (いきいき組) |
| 21 | 土 | |
| 22 | 日 | |
| 23 | 月 | 勤労感謝の日 |
| 24 | 火 | |
| 25 | 水 | 久保先生わらべうた |
| 26 | 木 | キッチンデー (ピザ) |
| 27 | 金 | 大吾先生野遊び |
| 28 | 土 | |
| 29 | 日 | |
| 30 | 月 | 苗植え (いきいき組) |
| | | |



☆係からのお知らせ☆

環境玩具係

グッドトイコンテストも終わり、各クラスで作った玩具を子どもたちが遊んでいます。

保育士が子どもの遊んでいる姿を想像しながら作って来た玩具の数々…。実際に遊んでみると力加減によって壊れてしまったり、思ったとおりに動かないこともありましたが、子どもの姿から改良点を探して作り直していきました。子どもたちは新しい玩具に興味津々で自分から手を伸ばして遊び始め、異年齢クラスでも自分たちで投票した玩具を見ると「これで遊んでいいの？早くやりたい！」と遊び始めていました。

今年は保護者の方も参加していただき、とても盛りあがったグッドトイコンテストにすることが出来ました。「参加したい」という方がいましたら、ぜひ今後も参加してほしいと思います。



絵本わらべうた係

絵本わらべうた係では、年間を通して各家庭でも絵本を親しみ、楽しんで読むことが出来るように回覧絵本を用意しています。回覧絵本は、季節にあった物や子どもたちの発達に合わせ、この年齢ではこんな絵本を楽しみ、親しんでほしいという絵本を選んでいきます。回覧絵本を利用して頂いたご家庭からのコメントでは、「絵本に出てくる動物と同じ仕草をして読んでいました」、「絵本に出てくる言葉を笑いながら何度も繰り返し喋っていました」と楽しんでいる様子を聞く事ができ、とても嬉しく思います。

また、保育園で絵本を読んでいる様子を写真やコメントにして1・2・3月分の回覧絵本と一緒に、見て頂く準備をしています。子どもたちがどのような表情をして、どのように絵本を楽しんでいるのか、是非見て頂きたいです。

12月より図書コーナーにある白い棚を各クラスのプレゼン用のブースとして、絵本の紹介をしていくことになりました。「いま回覧絵本はこの絵本が回っています」、「オススメの絵本はこの絵本です」というように各クラスとおきの紹介をしていきます。是非、ご覧になってご感想をお寄せ下さい。



気をつけよう！冬の感染症

●RSウイルス感染症

RSウイルスの感染によって起こる流行しやすい感染症。特に1歳未満の乳児がかかりやすく、気管支炎や肺炎を起こします。

鼻水やせきなどの症状で始まり、呼吸時にヒューヒューといった音が出る。

重症化すると危険な状態になることもあります。症状が見られたら、早め に受診し、こじらせないようにしましょう。

●溶連菌感染症

A群溶血性連鎖球菌という細菌が原因となる病気。

高熱、のどのはれ、嘔吐、頭痛などの症状が出る。首のリンパ節がはれたり、筋肉痛や中耳炎を起こすこともあります。その後全身に小さな発疹がでたり、舌に白いコケ状のものがつき、3日位すると赤くブツブツしてイチゴ舌になります。発疹や舌のブツブツが出ず、のどが痛いだけのこともあります。抗生物質で治療をします。

●インフルエンザ

インフルエンザウイルスが原因

◎急激に40度前後の高熱が出て、悪寒や頭痛、のどの痛み、せき、鼻水、筋肉や関節の痛みなどの症状が現れる。吐き気、下痢などの症状が表れることもあります。感染力がとても強く、ふつうのかぜよりも、症状が重いのが特徴です。かぜと区別しにくいですが、今は検査でインフルエンザかどうかわかるようになっているので受診して確認しましょう。

給食室

食欲の秋になり、給食を食べる量が少しずつ増えてきた子どもたちですが、だんだんと寒くなるにつれて、体調管理にも十分気を付けていきたいですね。

きのこ類や芋類を中心とした秋野菜は夏の間になされた体力を回復し、冬に向けてエネルギーを蓄える効果があります。その他にもいくつか旬の野菜を紹介します。

〈ブロッコリー〉

ビタミンCが非常に豊富。疲労回復、かぜの予防に効果があるので是非取り入れたい野菜ですね。



〈葱〉

特有の強い香りの成分「硫化アリル」は血行を良くし、疲労回復にも効果が期待でき、殺菌効果と鎮静効果もあります。

〈れんこん〉

粘り気成分のムチンは胃腸の働きを助けて、保護してくれます。新レンコンは柔らかくあっさりしていて晩秋から冬のは甘味がまします。

旬の野菜を上手に取り入れて風邪に負けない体づくりを心掛けたいですね！



★11月26日にはキッチンデー「小麦」第3弾でピザ作りをします。ドラム缶のピザ窯で焼いたピザを給食に出しますのでお楽しみに♪

☆クラスの様子をお伝えします☆

にこにこ組

にこにこ組では、お天気の良い日はウッドデッキやテラスに出て外気浴をしています。歩行もでき、歩くことを楽しんだり、プランターの葉や土の感触を楽しむ姿が多く見られます。そこで、葉っぱを見つけると「はっぱ」などの言葉にして話そうとする子も多く見られます。

また、ウッドデッキで外気浴をした後、保育士と1対1で『だるまさんが』や『まるくておいしいよ』などの絵本の読み聞かせをしています。絵本を指差し、「あれ！」「これ！」「あむー」と言い、食べる真似をする子や絵本の簡単なフレーズと一緒に声を出して絵本を楽しんでいます。

絵本を通して保育士と子どもたちの触れ合う時間を大切にしています。



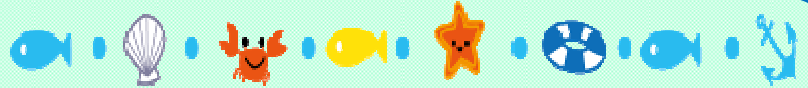
よちよち組

肌寒くなってきましたが、元気いっぱいのよちよち組！部屋でたくさん遊んだ後「外行こうね」と声を掛けると、使っていた玩具を元に戻して嬉しそうにテラスへ向かいます。自分のマークのケースから靴下と帽子を取り出し、保育士と一緒に支度をしています。4月からの積み重ねで自分のマークや場所を覚えてきました。靴下の入り口を広げて履く子、保育士が広げると足を入れて一緒に引っぱる子など、一人ひとりの姿に合わせて出来る部分は見守りながら進めています。

また、手洗いが始まりました。築山や遊具で沢山遊んだ手は、真っ黒！保育士が隣で見本を見せ、一緒に汚れが落ちるのを確認しながら一人ずつ行っています。保育士が「手首洗おうね」と言うと保育士の言葉を真似して「てっくび♪」と言いながら手をクルクル回して楽しそうに洗っています。最後に自分のマークの所に掛かったタオルで保育士と一緒に拭き上げ、「綺麗になって気持ちいいね」と声を掛けると「うん」と笑顔を見せてくれます。



すくすく組



10月より午前中の戸外遊びの時間、園庭で過ごしています。

とっても広い園庭ではたくさん走り回ったり、ボールを投げたり、遊具に挑戦したりと一人ひとり楽しんでいきます。

テラスではなかった大型遊具では、ぎゅっとロープを握ったり、足を上げて登ったり・・・テラスの遊具でたくさん身体を動かしてきているので、子どもたちもどんどん挑戦しています！でも、滑り台の上まで行くとテラスの遊具では味わえなかった“高さ”を感じ「こわい！」「できない！」などの声も聞かれますが、「先生見てるから」「ここで待ってるよ！」と励まし、出来た時には「できたね！」「すてきだね！」と声を掛け、自信や意欲に繋げています。出来た時の子どもたちの表情は嬉しさだけでなく、たくましさも感じられます！！



ぽかぽか広場



ぽかぽか広場のお友達は、このところ少しずつ登園する事にも慣れて、好きな遊びを見つけて楽しく一日を過ごす事が増えてきました。登園に慣れたお友達は衣類の着脱などにも積極的に挑戦しています。

左右の足を確認しながらズボンを履いたり、靴のマジックテープを自分で止めたり、ひとりひとりが自分の出来る事に挑戦しています。

また、一日の流れを覚えて、戸外遊びの前には下駄箱から自分の靴を取り出し、靴下と帽子も手にして身支度を整える姿も見られるようになりました。

登園に慣れたお友達を中心に、ぽかぽか広場でも一人一人の出来る事を見守り、出来た時には喜びに共感していきたいと思います。



異年齢

異年齢クラスでは、月に一度、植物や虫に詳しい大吾先生による野遊びが行われます。季節の植物や虫の話の聞いたり、実際に触れて、色々な発見を楽しんでいます。10月の野遊びでは種について教えてもらいました。子どもたちの身近なドングリも『種』だということ知ると、のびのび組の子どもたちは「え！これが種！？」と目を丸くして驚いていました。わくわく組といきいき組は、ねこじゃらし(エノコログサ)やお米、ススキも種であること、大きさは違っていても種からは芽が一つしか出ないことなどを聞き、真剣な表情で話に聞き入っていました。

また、今年は各学年、植物を使って様々な遊びをしています。のびのび組では、袋にお花と水を入れて色を出す『色水遊び』をしました。「このお花はピンクだから絶対ピンクになるよ」「どんどん色が出てくる！」と色が出てくる様子をとっても楽しんでいました。花だけでなく果物の皮などでも挑戦して、「ブドウは何色になるのかな？」など子どもたちの関心も広がっています。



わくわく組では、色鉛筆を使って、葉っぱの上に紙を置いて模様を出す『こすり出し』をしました。葉っぱの模様が紙に浮かび上がってくると「うわあ！葉っぱの模様だ！」「なんか模様が迷路みたいになってるよ」と色んな感想が飛び交っていました。園庭の隅々まで葉っぱを採集して、たくさんの葉っぱを『こすり出し』していました。





いきいき組は、雨のなか雨散歩で清水ヶ丘公園に行きました。たくさんのどんぐりを拾って秋探しをし、クラスに帰ってきて「こんなにいっぱいどんぐりがあったよ！」と話してくれました。その後も園庭のコナラやクヌギのどんぐりを拾って集める姿も見られました。

大吾先生の野遊びをきっかけに、子どもたちは植物に興味津々です。食欲の秋、スポーツの秋真っ盛りですが、子どもたちにとってはどんぐりなどの木の実や紅葉した葉っぱで遊べる「植物の秋」でもあります！体をいっぱい動かして遊ぶとともに植物遊びもいっぱい行なっていきたいと思います。

